

宮路拓馬 国会通信

■ 第190回通常国会閉幕 参院選でも与党が勝利

6月1日に第190回通常国会が閉会しました。今国会では、景気対策を柱とする予算を年度内に成立させ、伊勢志摩サミット、そしてオバマ大統領の歴史的な広島訪問など、外交的にも大きな成果を挙げることができました。また、私も提案者の一人となった有人国境離島特別措置法や合法伐採木材等流通及び利用促進法などの議員立法も成立させることができました。

閉会の前日には、野党より内閣不信任案が提出されましたが、与党の反対多数で否決しました（なお、私の後ろで投票されているのは故・鳩山邦夫先生です。鳩山先生は、私が総務省勤務時代に間近でお仕えした総務大臣でもあり、私が国会議員となってからも大変かわいがって下さいました。心からのご冥福をお祈りいたします。）。

安倍政権は、平和安全法制、原発再稼働、TPP交渉など、国家の難題に正面から取り組み、着実に成果を挙げています。民主党政権時の平成24年と比較すると、①就業者数は110万人増加（6,270万人→6,376万人）し、②有効求人倍率は0.83倍から1.34倍に（史上初めてすべての都道府県で1倍を超えた）、そして③若者の就職率は過去最高（大学生で97.3%、高校生で99.7%）、④給与も3年連続で2%水準の賃上げとなり、さらには⑤税収も21兆円増加（78.7兆円→99.5兆円）となりました。

そして、去る7月10日投開票の参議院議員選挙では、それらの実績を評価していただくとともに、「日本をさらに力強く前へ進めてほしい」という国民の皆

様の後押しを受け、自民党・公明党の連立与党で過半数を大きく上回る議席をいただきました。その負託にこたえるため、安定した政治基盤のもと、国民の皆様とお約束した経済再生や雇用創出、子育て支援などの政策の実現のため頑張っています！



(5月31日 衆議院本会議場)

■ 自民党原子力規制PT 川内原発を視察

6月6日、自民党の原子力規制に関するPTの吉野正芳座長、石川昭政事務局長が来鹿し、川内原子力発電所を視察されました。

九州電力からは、世界で最も厳しいとされる新規規制基準を国内で初めてクリアした川内原発の対応状況について、現場を一つ一つ丹念に見て回りながら説明を受け、その後、薩摩川内市役所において岩切秀雄市長とも意見交換を行いました。

吉野座長は福島第一原発を選挙区内に抱え、事故後の原子力規制委員会設置法の立法作業をリードされた方ですが、同座長からは「九州電力は協力業者とも緊密な関係を築き、原発と謙虚に真摯に向き合っている」との評価をいただきました。

原子力行政は、科学的知見を軽視した結

果発生した福島第一原発の事故を教訓とし、政治的介入を排し、科学的根拠のみに基づいて行われなければなりません。

私も衆議院原子力問題調査特別委及び原子力規制PTの一員として、国民の皆様から信頼される原子力行政を推進すべく力を尽くしてまいります。



(6月6日 川内原子力発電所)

■ 甕島を視察

石破茂地方創生担当大臣と

7月16日、石破茂地方創生担当大臣や岩切秀雄薩摩川内市長らとともに甕島を訪問しました。

甕島では、地元の皆様から熱烈な歓迎を受けながら、①農林水産業の六次産業化や②特産品・観光コースの新規開発、③「甕島から本土へ、そして世界へ」と向けた再生可能エネルギーの普及・拡大の取組、④古民家の再生、⑤伝統民謡を含めた芸術による地域活性化、そして⑥民間活力を生かした行政財産の有効活用など、大変充実した視察を行うことができました。これらは甕島に新たな雇用を生み出す重要な取組です。

石破大臣におかれましても、訪問した先々で、地元の皆様と直接語り、特産品を精力的に試食されるなど、まさに五感をフル活用して甕島における地方創生の取組をご覧いただきました。

「鹿児島における地方創生モデルの実現」を掲げる私としても、こうした取組を全力で後押しするとともに、甕島の魅力

を全国に発信するため頑張ってまいります！



(7月16日 甕島の山下商店前)

■ 熊本地震被害状況視察

衆議院農林水産委員会

7月20日、この度の熊本地震で被災した農地・農業用施設などの被害や復旧の現状を視察するため、衆議院農林水産委員会の一員として熊本を訪問しました。

現場視察の後、熊本県庁において蒲島郁夫知事と意見交換を行い、知事側からは、単に復旧により農地を元に戻すだけでなく、大規模化して作業効率を上げたり、将来の法人化に向けて農作業を共同化するという「創造的復興」の方針について説明を受けました。規模拡大や農作業の共同化は、生産性を向上させ、担い手不足の解消にもつながる重要な取組であり、是非とも推進していく必要があります。

蒲島知事が目指す「創造的復興」推進のため頑張ってまいります！



(7月20日 清住フラワーファーム)